

使命

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」を心得、実践する人を育成し、豊かな未来社会を作る。

その達成に向け良質の教育活動と、活発な知的創造・研究活動を行う。

教育理念

学園建学の精神「感恩」の構造化と具現化、その実践を支える「臨床福祉」の精神、「豊かな人間性」の涵養が関西福祉科学大学の教育理念である。

「臨床福祉」とは「支援するものとされるもの」が、互いの人格を認め合い、自らの将来に意欲を持って立ち向かえるように支援することを意味するものである。臨床福祉の精神が目指すものは単なる負の克服にとどまらない、より高次の積極的価値の生成である。

教育目的・目標

福祉科学の知識・技術を体得し、建学の精神「感恩」に基づき、人の幸せを願う豊かなところで、臨床福祉の精神に支えられた福祉科学を実践する人の育成

～笑顔 あいさつ 優しさを大切にし 豊かな学生生活を創る～

社会福祉学部

臨床福祉の精神を培い、社会福祉の科学的な知識と技術を教授し、人が幸せに生きる社会の構築に真摯に努める専門的な実践力を備えた人を育成する。

■社会福祉学部 社会福祉学科

社会福祉の専門職は言うに及ばず、広く地域社会において福祉社会の構築に貢献できる実践力を身につけた社会福祉士、精神保健福祉士等の育成を目的としている。

そのため、講義から演習さらに実習への学習プログラムを大切に、社会福祉の実践に必要な価値観、専門的知識、技術や技法を修得することが教育目標である。

なお、各コースでは、以下のような人の育成を目指している。

(1)社会福祉コース

- ① 社会福祉士の取得を目指し、福祉の現場において相談援助を行う、福祉専門職
- ② さまざまな専門職とのネットワークの中心的存在として活躍できる人

(2)精神保健福祉コース

- ① 精神保健福祉士の取得を目指し、精神保健福祉の現場において相談援助を行う、精神保健福祉専門職
- ② 精神保健福祉分野においてさまざまな専門職とのネットワークの中心的存在として活躍できる人

(3)福祉実践コース

- ① 企業、行政機関、地域社会など幅広い分野で、『人』を大切にするという社会福祉の考え方を発信できる人
- ② 幅広い分野で新しいサービスを生み出しマネジメントできる人
- ③ 介護福祉士の取得を目指し、介護福祉の現場において、適切な介護を提供する、介護福祉専門職

■社会福祉学部 臨床心理学科

医療・教育・福祉・行政・産業などの領域で、人の気持ちと立場を理解しつつ、こころの問題を解決し、個々人の能力をひきだし、人間関係を調整することに役立つ人の育成を目的としている。

そのため、乳児から高齢者までを対象とした心理学的諸問題を客観的にとらえる科学的理論と、カウンセリング・マインドに基づいた実践技法を修得することが教育目標である。

なお、各コースでは、以下のような人の育成を目指している。

(1)心理臨床コース

- ① 神経症やうつ病など、精神科領域も含めたこころの問題と心理査定、心理療法についての知識をもち、こころの問題の解決の支援ができる人
- ② 家族や職場などにおけるこころの問題についての知識をもち、人間関係の調整やストレス対処、社会適応について支援ができる人

(2)心理・子ども学コース

- ① 乳幼児と児童・生徒の認知的・社会情緒的発達についての知識をもち、発達支援ができる人
- ② 乳幼児期、児童期、思春期の親子関係や養育についての知識をもち、子育て支援ができる人

心理科学部

臨床福祉の精神の下、心のはたらきについての科学的知識と、心の健康を実現するための効果的な援助技法を教授し、人々が幸せを感じて生きていける社会づくりに貢献できる実践的人材を育成する。

■心理科学部 心理科学科

医療・教育・福祉・行政・産業などの領域で、心理科学を適用することによって問題解決をはかることができる、専門的職業意識をもつ有用な社会人となるよう、教育する。

目指すべき人材像は、他者の気持ちを理解し、立場や役割を尊重しつつ、様々な心理社会的問題の解決ができる人であり、個人の能力を自然にひきだし、人間関係を調整することによってこれらが実現できる社会人である。

そのため、人間の心身の発達の仕組みを科学的に理解し、胎児期から高齢期までの幅広い人間を対象とした心理学的諸問題を客観的にとらえ、科学的に解決する理論と技法を修得することが望まれる。心理科学部における4年間の修学によって、人と接する上で必要とされる豊かなコミュニケーション能力が培われ、問題を抱えた人を理解し支援できるカウンセリング・マインドが得られるようになる。

なお、各コースでは、以下のような人の育成を目指している。

(1)現代心理コース

- ① より健康で幸福感に満たされた日々が過ごせるよう、人々の暮らす環境に働きかけ、制度のみなおしや運用上の改善の必要性に気づき、的確に対応できる産業人
- ② 活気ある地域づくり、健全で生産性の高い組織づくり、人に優しい環境設計、平和で豊かな社会創生を志し、実行できる社会人

(2)臨床心理コース

- ① うつ病などのこころの病、職場や地域でのこころの問題を理解し、心理査定と心理療法を適用して問題解決や支援ができる人
- ② 乳幼児や児童・生徒の認知的・社会情緒的発達についての知識をもち、必要な支援や、子育て支援を他職種と協働してできる人

健康福祉学部

健康に関する理論と技術を修得し、これらを駆使して、福祉社会の構築に寄与する専門的職業人を育成する。

■健康福祉学部 健康科学科

専門的知識を身につけ、児童生徒等・教職員の健康と安全を守る教育者(養護教諭)、及び働く人々の健康・環境マネジメントの専門家(第一種衛生管理者等)の育成を目的としている。

そのため、トータルヘルスについての知識や専門的技術を修得することが教育目標である。

なお、各コースでは、以下のような人の育成を目指している。

(1)養護・保健コース

- ① こころの健康や身体症状に関する知識、カウンセリング能力、健康問題をとらえる力量や解決のための指導力、企画力、調整力を身につけた養護教諭
- ② 生涯にわたって健康・安全に生活するための健康教育ができる養護教諭
- ③ こころのケアが担当できる養護教諭

(2)健康科学コース

- ① 健康・安全・衛生に関する知識と技術を修得し、働く人々の健康と安全を実現する専門家
- ② 労働社会における問題点を的確に見通し、健康と環境のマネジメントができる第一種衛生管理者
- ③ ストレス・メンタルヘルス対策ができる第一種衛生管理者

■健康福祉学部 福祉栄養学科

人が豊かに生きるための「栄養と食」について学び、ライフステージ(生涯)を通しての栄養管理・栄養指導を行える管理栄養士の育成を目的としている。

そのため、栄養や食品に関する基礎知識、栄養指導の実践技術力を修得することが教育目標である。

なお、各コースでは、以下のような人の育成を目指している。

(1)臨床栄養管理コース

- ① 栄養管理、栄養指導を行える専門的能力を身につけた上、医療・高齢者福祉など、「臨床の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士
- ② すべてのライフステージ(生涯)において、食生活に起因する生活習慣病の予防や、栄養指導を行う、医療・高齢者福祉のスペシャリスト

(2)食品開発・食育コース

- ① 食品管理、食育指導を行える専門的能力を身につけた上、食品開発・品質管理など「産業の場」あるいは、保育・児童・保健など「福祉の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士
- ② 食べ物と人の健康の維持・増進に関連し、食品管理、食品開発、あるいは食育を行う、産業・福祉のプロフェッショナル

保健医療学部

医療人としての人の幸せを願う豊かな心と教養および基礎知識を身につけると共に、リハビリテーション科学の発展と専門分化に追随し、応用できる知識と技術、および福祉科学を理解した、指導力と協調性を有する人を育成する。

■保健医療学部 リハビリテーション学科

障がい者を有する方の治療に当たる医療専門職に必要な人格・知識・技能を備えた理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の育成を目的としている。

そのため、医療専門職に求められる次のような人格・知識・技能を修得することが教育目標である。

- ・ 医療人としての豊かな教養と人に愛される人間性
- ・ リハビリテーション科学の発展と専門分化に追随し、応用できる知識と技術
- ・ 「超高齢社会」「障がい児・者の支援」に対応する福祉科学の知識
- ・ 指導力と他の医療従事者との協調性

なお、各専攻では、以下のような人の育成を目指している。

(1)理学療法学専攻

- ① リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる理学療法士
 - ・ 基礎理学療法
 - ・ 運動器障害理学療法
 - ・ 神経・発達障害理学療法
 - ・ 内部障害理学療法
 - ・ 地域理学療法

(2)作業療法学専攻

- ① リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる作業療法士
 - ・ 基礎作業療法
 - ・ 身体機能作業療法

- ・ 精神機能作業療法
- ・ 発達過程作業療法
- ・ 地域・高齢者作業療法

(3)言語聴覚学専攻

- ① リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる言語聴覚士
 - ・ 失語・高次脳機能障害学
 - ・ 発声発語・嚥下障害学
 - ・ 言語発達障害学
 - ・ 聴覚障害学

教育学部

教育や子どもに関する理論や技術を教授するとともに、幅広い教養と豊かな人間性を培うことによって、幸せな未来社会の構築に貢献しうる、実践的指導力のある専門的職業人を育成する。

■教育学部 教育学科

幅広い教養を土台に、教育や保育に関する理論や技術を修得することによって、教育や保育の実践の場で専門性を発揮できる教員や保育者を育成するとともに、多角的な視点から現代社会の教育課題に応じうる教育人を育成する。

なお、各専攻では、以下のような人の育成を目指している。

(1)子ども教育専攻

- ① 幼児教育や保育に関する専門的知識と技能を修得し、それを現場で柔軟に活用することができる実践的指導力を有した人
- ② 発達障害に関する基礎的な知識を身につけ、幼児教育や保育、および福祉活動において乳幼児の成長・発達を適切に支援することができる人
- ③ 福祉科学の視点を有した知識を修得し、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる豊かな感性を持つことで、教育産業等で活躍ができる人

(2)発達支援教育専攻

- ① 児童の教育や学校での教育実践に関する専門的知識と技能を修得し、それを現場で柔軟に活用することができる実践的指導力を有した人
- ② 発達障害や特別支援教育に関する基礎的および専門的な知識と技能を身につけ、学校教育の場で児童の成長・発達を適切に支援することができる人
- ③ 福祉科学の視点を有した知識を修得し、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる豊かな感性を持つことで、教育産業等で活躍ができる人